

学校法人会計 C2 から D2 へのデータ変換

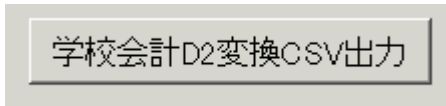
有限会社シンシステムデザイン

このデータ変換を行うためには次のソフトの更新日を確認してください。

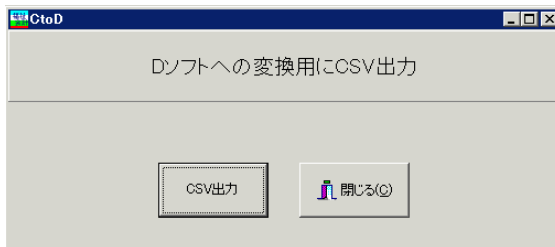
D2 ソフトの最新更新日は 2015 年 6 月 3 日以降

C2 ソフトの最新更新日は 2015 年 6 月 3 日以降

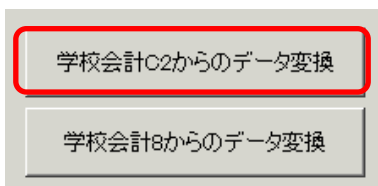
1. 学校法人会計 C2 ソフトの補助作業メニューから左のボタンをクリックしてください。



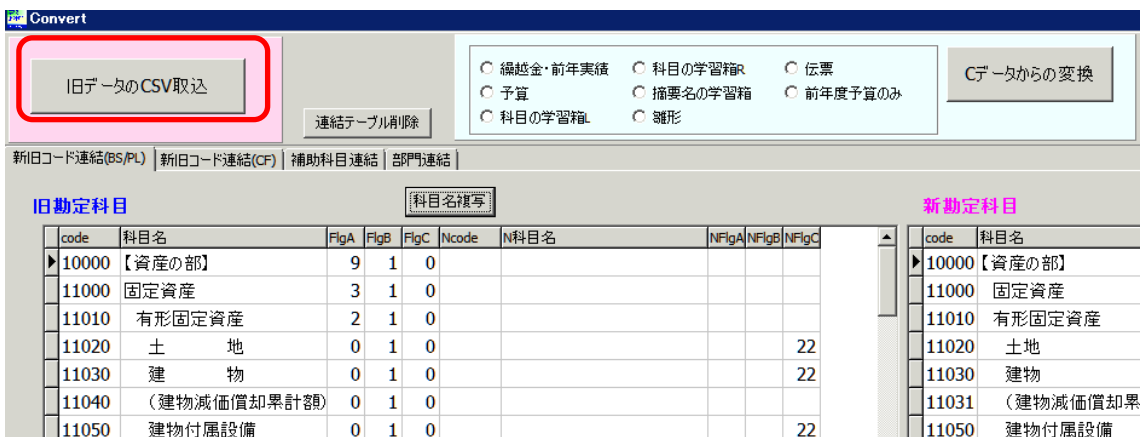
2. 次の画面で、CSV 出力をクリックしてください。



3. ソフトを終了して、「学校法人会計 C2」フォルダを開いてください。（どこにあるかわからない場合は、ショートカットの上で右クリックをしてプロパティで確認してください。）
4. 「学校法人会計 C2」フォルダの中にある「Conv」フォルダをコピーして学校法人会計 D2 のフォルダの中に貼付けます。
5. 学校法人会計 D2 のソフトを立ち上げます。
あらかじめ部門登録や勘定科目設定を行ってから以下の操作を行います。
6. 補助作業メニューに入って、次のボタンをクリックしてください。



7. “旧データの CSV 読込” のボタンを押すと、次のような画面になります。

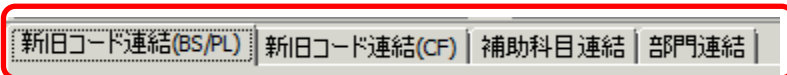


8. C2 と D2 の科目を連結させます。

左の旧勘定科目の FlgA=0 の科目にカーソルを合わせておいて、右の新勘定科目の連結させたい FlgA=0 の科目をダブルクリックします。旧勘定科目の右列に新勘定科目が入ります。左の旧勘定科目のカーソルポインタは自動的に次の FlgA=0 の科目に移動しますので、右の新勘定科目をダブルクリックして行ってください。

旧勘定科目				科目名検索				新勘定科目						
code	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	Ncode	N科目名	NFlgA	NFlgB	NFlgC	code	科目名	FlgA	FlgB	FlgC
10000	【資産の部】	9	1	0						10000	【資産の部】	9	1	0
11000	固定資産	3	1	0						11000	固定資産	3	1	0
11100	有形固定資産	2	1	0						11100	有形固定資産	2	1	0
11110	土地	0	1	0	11020	土地	0	1	0	11020	土地	0	1	0
11120	建物	0	1	0	11030	建物	0	1	0	11030	建物	0	1	0
11121	(建物減価償却累計額)	0	1	0	11031	(建物減価償却累計額)	0	1	0	11031	(建物減価償却累計額)	0	1	0
11130	建物付属設備	0	1	0	11050	建物付属設備	0	1	0	11050	建物付属設備	0	1	0
11131	(建物付属設備減価償却累計額)	0	1	0	11051	(建物付属設備減価償却累計額)	0	1	0	11051	(建物付属設備減価償却累計額)	0	1	0
11140	構築物	0	1	0	11070	構築物	0	1	0	11070	構築物	0	1	0
11141	(構築物減価償却累計額)	0	1	0						11071	(構築物減価償却累計額)	0	1	0
11150	教育用機器備品	0	1	0						11090	教育研究用機器備品	0	1	0

9. CF (資金収支科目)、補助科目、部門も同様にしてください。



10. 連結完了しましたら、下記より必要なデータの読み込みを行ってください。

この処理は元のデータを削除して読み込みますので注意してください。

<input type="radio"/> 繰越金・前年実績 <input type="radio"/> 科目の学習箱R <input type="radio"/> 伝票	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">データからの変換</div>
<input type="radio"/> 予算 <input type="radio"/> 摘要名の学習箱	
<input type="radio"/> 科目の学習箱L <input type="radio"/> 雛形	

☆ 伝票の読込をした場合

D2 ソフトで仕訳入力の補助作業に入り、伝票番号を全体の連番にいったん並び替えてください。その後、部門別で運用される場合は、部門別を選択して再度並び替えを行ってください。